

人権講演会

ココロとカラダに優しい歌葉(うたぐすり)

昨年9月に開催された沢田知可子さんのトーク&コンサートに参加された方から感想文をいただきましたので紹介します。

◎沢田知可子さんのコンサートを聴いた

60代女性

順番が入れ替わった息子の、突然の死、失望のどん底でした。毎日、愛する息子に「会いたい 会いたい」地獄でした。時が少しずつ立ち直らせてくれました。

沢田さんのトークに感動しました。「歌を聴いて悲しいときは涙を流しても良い。心が浄化されるから、決してマイナスな事ではない。」そう言われました。「歌を聴く事によって、人は脳内の神経に伝達物質が働いてセロトニンというホルモンが出る。それによって人は元気になる。」と聞きました。その夜はインターネットで詳しく調べ印刷して、悩んでいる友人に

渡してあげ、コンサートの感動したところ、歌の魅力を伝えてあげました。「会いたい」を聴いて、沢田さんの澄んだ心にしみる歌声を聞いた途端にもう涙が止まらず「会いたい」が息子に会いたいとダブリ泣きながら歌の世界に引き込まれて行きました。曲も砂浜に波が引いては寄せ静寂の時には迫力があり情景が脳裏に浮かびイメージが増々高まり、周りにはずかしい程、歌の世界にはまっぴい、もう涙が止まりませんでした。頑張っで前向きに生きたいと思っています。「GIFT」ギフトを聴いてトークの中で、「頑張ろうと言う言葉は精一杯心の底から言ったら良い。私は人をはげましてあげる時、頑張れとは言わない様になっています。沢田さんは涙を流されて歌われました。ベッドの上の子供に頑張れ々頑張れ々心の底からきれいな声で魂をぶつけるように「頑張れ々」私は感動しました。「頑張れ」という言葉が好きになりました。今日一日感動ありがとうございました。

昨年、和歌山県・(財)和歌山県人権啓発センターが、人権について改めて考えていただこうという趣旨で募集した「人権の詩(こころのうた)2013」の中学生の部において理事長賞に受賞されました作品を紹介いたします。

また、吉備中学校、八幡中学校、白馬中学校の三校が人権の詩(こころのうた)取組優秀校(感謝状)に選ばれました。

「あの子」は完璧だ。
私と違って運動神経がよく
かしこくて、
可愛い。
でも「あの子」になりたいとは思わない。
だって私は私だから。
「あの子」の道があるから。
「あの子」は自分の道を進んで完璧になったんだろう。
だから私も自分の道を進む。
進み。
進み続ける。
そしたら本当の自分に会えるはず。
「あの子」みたいにならなくていい
本当の自分になりたい。

人権の詩2013 理事長賞(中学生の部)
「自分の道」 吉備中学校2年 則村 いづみさん

お知らせ

1月15日(水)、人権擁護委員相談所を開設いたします。相談は無料で、秘密は厳守されます。

場所 金屋文化保健センター
時間 午後1時から4時まで

■人権に関するお問い合わせ

金屋庁舎 社会教育課
TEL 5212111
FAX 3214827